

R P P C メール

リサイクルポート推進協議会

第 2 7 3 号 (平成 2 1 年 2 月 2 5 日発行)

=====

《RPPC 活動予定表》

- 2/26 技術開発部会 静脈物流管理システム分科会
10:00 ~ パーク芝浦 3F 会議室
- 2/26 調査・研究部会 汚染土壌事業化分科会
15:00 ~ パーク芝浦 3F 会議室
- 3/17 技術開発部会 副産物・廃棄物利用促進分科会
15:00 ~ パーク芝浦 3F 会議室

=====

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

- 1. リサイクル資源共同輸送 / 実証実験スタート / 瀬戸内海域日新呉など参加
- 2. 社会資本整備重点計画、リサイクルポートへの企業立地 230 社 (24 年)
- 3. 20 年度第 2 次補正で、3 港対象に「みなと振興交付金」新規着工
- 4. 茨城県が茨城港港湾計画の改訂案を地方港湾審議会です承。

=====

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

- 1. リサイクル資源共同輸送 / 実証実験スタート / 瀬戸内海域日新呉など参加

瀬戸内海海域では、鉄スクラップを含めたリサイクル資源について、運搬船を利用した大規模共同輸送事業の計画が推進中だ。瀬戸内海沿岸の港を運搬船が巡回コンテナに入れた産業廃棄物を船積みし、処理に最適なりサイクル処理施設がある港に下ろす形式。リサイクルポート海上輸送実証実験検討会 (座長: 永田勝也 早稲田大学 教授) のもと今月 23 日から 5 日間実証実験を行い、09 年度中の事業開始に向けた課題点を洗い出す。瀬戸内静脈物流事業化推進協議会 (会長・漁充夫月星海運社長) が中核。12 社で構成され、幹事会社の月星海運をはじめ、鉄鋼関連では日新製鋼呉製鉄所、共英製鋼山口事業所、三井金属鉱業竹原製煉所が名を連ねる。

事業化の時点で拠点港に設定しているのは宇野、福山、呉、徳山下松、宇部、松山、高松の 7 カ所。月星海運所有の 20 フィートコンテナ 2 段積み 100 個が積載できるバージ船 1 隻 (1 回の輸送量 1500 トン) で周回する予定。実証実験では 5 港を巡回し、神戸港・高松港で廃プラを、呉港で鋳物廃砂をコンテナに積み込んだ後徳山下松港・宇部港に運ぶ。廃棄物集荷量は年間 8 万 ~ 9 万トン进行想定し、うち鉄・非鉄金属くず 10% 弱。輸送対象廃棄物のうち、鉄スクラップ関係の金属再生分野は A S R (自動車シュレッダーダスト)、A プレス、金属くずが対象となる

物流費は従来のトラック輸送料金の最低ラインとの比較で、10 ~ 20% のコストダウンと、省エネ率 50% が見込まれる。世界的景気悪化で海上輸送費用は低迷しているが「ガソリンと重油の比較検討データがないが、スケールメリットが确实にある」(協議会事務局)。協議会では、荷主となる鉄スクラップ業者を含め荷主を募集中。先進的

エコ事業への参加によるPR効果と、新規受け入れ先の確保につながるメリットを強調している。事業化に当たり、年間取扱量1千トンクラスの取り扱い業者80社が必要と見ており、応募企業数が多いほど安価で効率的な輸送が可能となるため、多数の業者の参画を呼び掛けている。

【事務局】

2. 社会資本整備重点計画、リサイクルポートへの企業立地230社(24年)

国土交通省は平成20年度から平成24年度を計画期間とする社会資本整備重点計画の素案をまとめ、3月6日までパブリックコメントを募集している。

社会資本整備重点計画は、国民生活・産業活動の基盤を形成する社会資本について計画期間中にどのような視点に立ち、どの分野に重点をおくのかといった「整備の方向性」を明確にし、その方向性を踏まえた「政策目標」とその実現によって国民が享受する「成果」を示したものになっている。

港湾整備事業については、我が国産業の国際競争力の強化、地域の活性化、大規模災害への対応力強化、戦略的な維持管理の推進、地球環境問題と少子高齢社会への対応、などが柱。

この中で地球環境問題と少子高齢社会への対応の項目では、循環型社会を形成するため、海上輸送による効率的な静脈物流ネットワークの構築、を掲げている。

同施策の指標となるリサイクルポートの促進では、リサイクルポートへの企業立地数として平成19年の188社から、24年には約230社を目標に掲げている。

【港湾空港タイムス】

3. 20年度第2次補正で、3港対象に「みなと振興交付金」新規着工

国土交通省港湾局は平成20年度第2次補正で、「みなと振興交付金」の新規着工事業として、伊良湖港伊良湖地区(愛知県田原市)、堺泉北港堺2区(堺市)、三角港西港地区・際崎地区(熊本県宇城市)の3港を採択した。

みなと振興交付金は「みなと」の振興を通じて地域の活性化を図る港湾所在市町村の取組を支援する事業。

新規着工のうち「伊良湖港伊良湖地区」は、基幹事業として臨港道路、浮棧橋、緑地等。計画期間は20年度~25年度。総事業費は5億2000万円(交付金2億1000万円)。「堺泉北港堺2区」は、親水空間の創出として、海と身近に触れ合うことができるよう「憩い、観光スポット」を整備。基幹事業として臨港道路。提案事業で展望施設。計画期間は20年度~22年度。総事業費は5億8600万円(交付金2億8300万円)。

「三角港西港地区・際崎地区」は、連絡船により西港地区と際崎地区を結ぶ新たな海上導線を確認するため、基幹事業により浮棧橋を設置し、観光客(利用者)の利用・滞

留の促進を図る。 計画期間は 20 年度～24 年度。総事業費は 4 億 4 0 0 0 万円（交付金 1 億 6 4 0 0 万円）。

【港湾空港タイムス】

4 . 茨城県が茨城港港湾計画の改訂案を地方港湾審議会です承。

茨城県は 1 月 29 日に茨城県地方港湾審議会を開催し、茨城港港湾計画の改訂案を了承した。従来の県北 3 港である日立港、常陸那珂港、大洗港は茨城港として昨年 12 月に統合されたが、統合に伴い新しい港湾計画を策定する。改訂案は 3 月 9 日に予定される国の交通政策審議会港湾分科会に諮問し、意見を聴く。

改訂案によると、平成 30 年代を目標年次とする取扱貨物量は 3 9 4 7 万 t（公共 3 1 4 7 万 t、専用 8 0 0 万 t）。内訳はコンテナが 2 2 1 万 t、RORO が 9 1 3 万 t、フェリー 1 3 2 7 万 t、一般貨物 6 8 7 万 t、専用貨物 8 0 0 万 t。

港湾計画の基本方針では 北関東の物流・産業拠点港湾の形成、東京湾岸地域の港湾物流機能の一翼を担う、魅力ある「みなとまち」の形成—の 3 点を挙げている。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：本野 晃郎 パシフィックコンサルタンツ(株)

部会員：藤原 敏光 五洋建設(株)

門脇 直哉 新日本製鐵(株)

座間味 康喜 東京都

リサイクルポート推進協議会事務局

(財団法人 港湾空間高度化環境研究センター内)

担当：首藤、新谷、大田

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc@wave.or.jp

会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####